

郷土愛を育むための春日井市独自の教育について

① 学校教育における郷土愛の位置づけ

1) 教育基本法（第2条第5号）

教育の目標：伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を
愛する態度の育成

2) 学習指導要領（道徳）

ア：小学生「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の育成

⇒自分が育った郷土は、自己形成に大きな役割を果たすとともに、一生にわたって
大きな精神的な支えとなるものである。郷土での様々な体験など積極的で主体的
な関わりを通して、郷土を愛する心を育て、郷土をよりよくしていこうとする
態度を育成

【各学年の指導要点】

- ・ 1・2年生：我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと

⇒遊びや生活科などの学習を通して、家庭や学校を取り巻く郷土に目が
向けられるようになることから、児童が住む町の身近な自然や文化などに
直接触れる機会を増やしたり、地域住民との触れ合いを深めたりすることで、
郷土への愛着を深め、親しみをもって生活できるようにする

- ・ 3・4年生：我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心を
もつこと

⇒地域での生活が活発になるのに伴い、地域の行事や活動に興味を持ち、積極的
に関わろうとする態度を育成し、地域の人々や生活、伝統、文化に親しみ、
それを大切にすることを通して、郷土を愛する心を育む

- ・ 5・6年生：我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や
郷土を愛する心をもつこと

⇒国土や産業、歴史などの学習を通して、国の発展に尽くした先人の業績や
優れた文化遺産に目が向けられるようになることから、それらを話題にしたり、
直接的に触れたりする機会を増やすことで、我が国の伝統や文化を尊重し、
更に発展させていこうとする態度を育成する

イ：中学生「郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の
念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで
郷土の発展に努める態度」の育成

⇒都市化が進む一方で過疎化も進んでおり、郷土に対する愛着や郷土意識が
希薄になる傾向があるが、生徒にとって地域社会は大切な生活の場である。
郷土の伝統や文化に触れ、体験することを通して、郷土に対する誇りや愛着を
もち、主体的に関わろうとする態度を育成し、今の暮らしは先人達のおかげだと

認識することで、尊敬の念や感謝の気持ちを深め、自分たちの力で地域社会をよりよく発展させていこうとする自覚を育成する。

【指導要点】

- ・自我の確立が、自己中心的な考えに陥ることがないように、先人達に支えられて今があることを自覚し、先人達への尊敬と感謝の気持ちを深めることが大切である。生徒たちが地域に住む人々との触れ合いや、共に成し遂げる機会が減少する中、郷土について調べたり、地域行事への参加体験を通して、郷土に対する認識を深め、問題意識を持って、進んで郷土の発展に努めようとする実践意欲と態度を育成する

3) 学習指導要領（国語）

言葉を正確に理解したり適切に表現すること、思考力や想像力を養うことなどは全ての教育の基礎となる。また、言語文化に関わり、国語を尊重してその能力向上を図る態度を養うことは、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛することに繋がる

4) 学習指導要領（社会）

多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国土や歴史に対する愛情は、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛することに繋がる

5) 学習指導要領（音楽）

音楽科で取り扱う共通教材は、我が国の自然や四季の美しさを感じ、文化や日本語のもつ美しさを味わえるものを含んでおり、道徳的心情の育成に繋がる

6) 学習指導要領（家庭科）

家庭生活を大切にする心情を育むことは、家族への敬愛を深めるとともに、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考え、地域社会をよりよくしようとすることに繋がる

7) 学習指導要領（総合的な学習の時間）

総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成するために各校で定め実施しているが、地域や学校の特色に応じた課題を設定するなどにより、地域を知り、主体的に関わり、愛する心の育成に繋がる

② 春日井市独自の郷土愛を育む教育

1) 書道科の実施

ア：概要

児童の表現力の向上、心の教育の充実という教育課題に対し、「書のまち春日井」として書道のもつ文化・芸術性及び精神性等の特色を活かした教育の一環として、小学校1年生で年間34時限、小学校2～6年生で年間35時限、特別の教育課程

として「書道科」を実施。

イ：効果

「書道科」では、自分の目標や思いを文字に込め、千代紙・和紙・提灯等と組み合わせた作品作りなど、各校で工夫を凝らした実施により、日本文化を味わいながら表現力を向上させることができおり、心を豊かにする取り組みとなっている。また、書を書くという具体的な活動は、「書のまち春日井」を身近に感じるよい機会となり、「書のまち」を発信する地域の特性を探究する活動にも取り組むことで、郷土愛の醸成にもなっている

2) その他